

ばれっと

2009
11月
No.123

■ すぽっとらいと

あーすらいふ仙台

足元から始まる、国際協力への道

■ アラカルト

＜サポセン・シアターを3倍面白くする企画＞

6 Sense Theater -6つの企画があなたをシゲキする-

- サポセン広場
- お知らせ
- イベント紹介

前半[6月~8月]
3企画報告!

10周年記念サポセンアルバム

Album No.8



市民活動シアター (2006年9月1日~)

歌もダンスもOKです。サポセンに新しい空間ができました!

一番町サポセンは、建物が変わっただけでなく新しい機能もできました。その中の1つが「市民活動シアター」です。サポセンの貸室では、歌や踊りはできないけれど、シアターではコンサートや演劇だってできちゃいます。また、文化芸術団体だけではなく、講演会・パーティーなどで市民活動団体にもご利用いただけてきました。

これからも、サポセンと一緒に市民活動を盛り上げていきたいと思えます。

すぽっとらいと

◆市民活動サポートセンターを活用している団体にスポットをあて、その活動の様子や運営のノウハウをご紹介します。

足元から始まる、国際協力への道 あーすらいふ仙台

国際協力のありかたを自分たちの暮らしの中から見つめる、あーすらいふ仙台。
肩肘をはらず、自分たちにできる範囲でできることから始める国際協力は、人にも環境にも優しい生活の始まりでもありました。

● できるところから、 自分たちにできることを

あーすらいふ仙台にとっての国際協力とは、自分たちの住んでいる場所〈仙台〉から、自分たちにできる範囲で人と世界にやさしい活動を始めてみようという、緩やかな活動です。フェアトレードを通じて、現地支援を行っている団体への協力、国際協力団体同士のネットワークづくりや国際社会への理解を深める活動をしています。

「フェアトレード」とは、生産者の生活や利益を考慮した価格で継続的に取引することによって、生産者の持続的な生活向上を支える仕組みです。また、その製品は環境に配慮して生産されるため、地球環境への負担を減らすという期待も大きいそうです。あーすらいふ仙台では、この考えに基づいてフェアトレードの普及活動、国際協力団体のネットワーク活動、エコ・スローフードの実践などを行っています。



▲ フェアトレードショップの方を囲んでのお話会の様子

● 確実な足跡

2004年より活動を始めた、あーすらいふ仙台。フェアトレードの勉強会や各種イベントへの出展などの活動をしています。出展している主なイ

ベントの一つに、毎年4月に開催される「一ノ蔵を丸ごと味わう春祭り」があります。宮城県松山町の酒蔵「一ノ蔵」さん恒例の蔵開放でのコーヒーサービスです。イベントでお酒が飲めない方のために、ぜひフェアトレードコーヒーを提供したいということで声をかけてもらい、今年で5年目の参加となるそうです。「一ノ蔵さんのお付き合いは、サポセンスタッフがきっかけだったんです。一ノ蔵さんがCSR活動として一緒に取り組める国際協力団体を探していたところに、僕たちを紹介してくれました」と代表の中津川勇志さん。

そのほか、仙台国際センターで行なわれる「せんだい地球フェスタ」、サポセンを会場とする「せんだいCARES」関連の催しなど、毎年続けて出展しているイベントも多いとか。「いろいろなイベントに出展して、少しでも多くの人にフェアトレードのことを情報として伝えられるのが一番の成果です」と語ります。

● 広げたい思い

着々と活動の幅を広げてきましたが、活動をしていくなかで大変だったことなどはなかったのでしょうか、たずねたところ「出展のときなどに関わってくれるボランティアの人たちは、それぞれの興味と関心を持って私たちの活動に参加してくれます。また、ほかの団体や関連機関との関係にしても、一度コーヒーサービス等の出展などでつながりを持つと、また次にも依頼されることが多く、特に苦労したことはないです」と中津川さん。その反面、「唯一あるとすれば、立ち上げ当初から抱えているメンバー不足ですね。活動を始めてもう数年になりますがなかなかスタッフが確保できず、せっかくいただいた依頼もお受けできないことがあります」とちょっと苦笑い。国際協力活動に興味があり、ミッションに共感できる方をいつでも募集中だそうです。しかし、そこは、

団体紹介

「自分でできることをできるところから」をモットーとしているあーすらいふ仙台。少ない人材でできる限り質の高い活動を続けています。

● 出来たらいいなあ、からはじまる大きな夢

あーすらいふ仙台的次なる目標を伺いました。中津川さんの一番大きな夢は、仙台をフェアトレードシティにすること。

「より良い商品を選択していくことが、結果的に国際協力につながるという意識なんですよね。例えば、どんな人が、どんな背景で、どんな想いをもって作ったかを知ることができる。また、オーガニックや有機栽培という厳しい基準をクリアしている商品も多いので、身体にも優しいのはうれしいですし、フェアトレードっていう方法が広まったほうが作り手の人たちの生活にとって良いのではないかと、という期待があって活動をしています」

フェアトレード商品の付加価値は、その背景にある暮らしや、顔の見えるつながり、作り手の生活を支援するという想い。それこそが、フェアトレード商品の真価ということなのでしょう。中津川さんのお話から、あーすらいふ仙台のフェアトレードにける熱い想いが伝わってきました。



▲ 「一ノ蔵」蔵開放での出展の様子

取材を終えて…

さまざまな活動を通して、自分たちにできる国際協力のあり方を模索・実践している「あーすらいふ仙台」さん。今回お話を聞かせていただく中で、単純な用語でも、「委託販売」などの商取引の用語が出てきて、自分自身の知らなかった事を教えていただき、大変勉強になりました。

(取材担当 大西 千佳)

あーすらいふ仙台

自分の住んでいる地域や地球のことを考えた生活を選択する事を目指して、月1回のペースで活動している。

主な活動内容は、

- フェアトレードの普及・促進・勉強活動
- 国際協力団体のネットワーク活動
- エコ・スローフードなど、地域にやさしい暮らしの実践



■ 設立 2004年7月

■ 連絡先

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市市民活動サポートセンター
レターケースNO. 28

TEL 022-354-5766

FAX 022-354-5766

メール earthlif SENDAI@infoseek.jp

H P <http://earthlif SENDAI.hp.infoseek.co.jp/>

infoseek.co.jp/

サポセンの ココが使える!

■ こまめに手軽に利用…

あーすらいふ仙台では、レターケースに始まり、交流サロンでの運営会議、貸室を使っのフェアトレード勉強会等、活動の様々な場所にサポートセンターを利用しています。

■ 良かったこと…

サポセンのスタッフから関連団体を紹介してもらったり、サポセンを利用している中で多くの団体とつながりを持つことができました。3人のメンバーが会おうキッカケになったのもサポセンつながりだとか…市民活動の縁は、人との縁だといっても過言ではないようです。

アラカルト

◆市民活動に役立つ情報やサポセンで開催された講座や事業の報告など、毎月いろいろなテーマでお送りします。

<サポセン・シアターを3倍面白くする企画>

6 Sense Theater

・6つの企画があなたをシゲキする・

前半3企画報告



6月よりスタートした、[第2期]サポセン・シアターを3倍面白くする企画。この企画は、市民活動シアター（以下、シアター）の存在をより多くの人に知ってもらい、シアターがさまざまな催し物が実施できる魅力的な空間であるということを理解してもらうために昨年よりスタートしました。

今年度は、市民の方から応募いただいた企画を、6月～8月と12月～翌年2月の前半後半に分けて6企画実施していきます。

今回は、6月～8月に実施された企画の様子をご紹介します。

（担当 内川 奈津子）

6月

タイトル：Book! Book! Sendai

「ワンダーランド・ブック・カフェ」～本と人と街が出会う2日間～

開催日：6月25日、26日

主催：杜の都を本の都にする会

■まさに本づくしの2日間！

この企画は、2日間で4つのイベントが開催されました。初日は、「仙台本の博覧会 センダイボンパク」と題した、パネルセッション。仙台の昔の出版事情から現代まで仙台の本にまつわる方々に集まってお話いただき、本を切り口に「仙台」の今を語りました。夜は、太宰治作『きりぎりす』の一人語り舞台。

2日目には、古本屋の店主による講座「私のブックカフェをつくらう」が行われ、30名の方が受講しました。実際のブックカフェ店主によるレクチャーとあって、皆さん熱心に耳を傾けていました。最後は、「いがらしみきお×塩山芳明トークショー」です。仙台在住の漫画家いがらしさんと、編集者塩山芳明さんによる出版業界談義。いろいろなお話が飛び出し会場をわかしていました。



○担当者から

シアターで実施した企画以外にも、6月にはBook! Book! Sendaiとして仙台の中心部で8つのイベントが行われました。まさに「6月は本を楽しむ」企画となりました。シアターでも、多種多様なイベントが開催され、多くの方にご来場いただきましたが、サポセンが設置されている一番町との連携企画など、街中にあるシアターの立地がとても活かされていた企画だと感じました。

7月

タイトル：環境警察2209 in 仙台

開催日：7月17日～20日

主催：（特活）フリンジシアタープロジェクト

■演劇で学ぶ環境問題

7月の企画は、4日間の子ども向けの演劇で環境問題を学ぶワークショップでした。「環境警察」という演劇を4日間のワークショップで作り上げ、最終日に上演するものです。演劇的手法を通じて、環境問題を学び、コミュニケーション能力を身につけることを意図としていました。

初日は、参加者・講師を交えての自己紹介。それから、発声練習や身体を少しずつ動かしていきました。その後、参加者と講師による話し合いで、劇のシナリオが作られていきました。「自分たちの現在の世の中で身近なところで起こっている環境破壊は何か？」を考え、今回は、エアコン・冷蔵庫・シャワー等、子どもたちの身の回りで実際にある無駄遣いが意見として出てきました。

みんなで作った劇は、ワークショップ最終日に、一般のお客さんの前で発表します。セリフを覚えたり、どんな動きをしたらいいのか、毎日毎日繰り返し練習します。発表会では、前日の練習とは見違えるように、きちんと大きな声で演じていました。観にきていた保護者からも、「普段は内気な子なのに、きちんと演じていてとてもびっくりした」という声が聞こえてきました。



○担当者から

4日間、毎日ワークショップの様子を拝見させていただきましたが、子どもたちが率直に感じている「環境問題（意識）」が劇中に上手く取り入れられているのが、面白いと感じました。

今回のワークショップは、2007年より全国で開催されているもので、仙台では初めての実施となりました。団体の方からは「ワークショップに適した空間」と言っていました。

8月

タイトル：「中南米音楽でバリアフリー」
 作ってならして、みんなで楽しく、歌っておどる
 開催日：8月29日、30日
 主催：（特活）博英舎・ころや



■音楽を通していろいろな人が交流する

イベントには、障害者通所施設である「ころや」と、発達障害の子どもと保護者を支援する「みやぎ発達障害サポートネット」や中南米音楽愛好会などいろいろな団体が協力してイベントが開催されました。このイベントでは、中南米音楽を通して、歌ったり、踊ったりしていろいろな人が交流することを目的としていました。

イベント当日には、なにやら大きなアシに似た植物が何本もシアターに運び込まれました。これは、サンポーニャという中南米の笛の民族楽器に使う植物だそうです。まずは、この植物からサンポーニャづくりのワークショップを行い、数時間後には、掌に収まる可愛いサンポーニャがいくつも出来ました。その後、各自が作った楽器で合奏が行なわれました。他にも、中南米音楽の民俗楽器チャランゴとアルパの演奏や、合唱などの音楽イベントが2日間に渡って行なわれました。会場では、各施設が作製したアクセサリーやキーなども販売され、賑やかな雰囲気でした。

○担当者から

今回の企画では、“音楽を楽しむことを通して、障がい者も健常者もバリアフリーを体感すること”を目的にしています。2日間にわたる全プログラムを通して、参加者／主催者が共に積極的にイベントを作り上げていました。文化芸術分野以外の市民活動団体が、シアターでのイベントを通して多くの市民に活動のアピールをできたことは、大きな成果だったと思います。

■12月からの後半の催し物のご案内

2009年 12月5日	Living Together in SENDAI -another story- 「映画＋朗読＋ラウンジ」で感じるHIVの今 主催：東北HIVコミュニケーションズ
2010年 1月22日～24日	仙台ジャズ・ピアノ クラブ コンサートVol.1 主催：仙台ジャズ・ピアノ クラブ
2010年 2月20日・21日（予定）	劇団ファットブルーム貸します 主催：劇団ファットブルーム

※左記のイベントの詳細がきまりましたら、ぱれっとなどでご案内いたします。

□シアター利用者アンケートを実施しました

今年6月にシアターに関する、利用者アンケートを実施しました。150名の方に送付し、のべ53名の方からご回答いただきました。ご協力いただき、ありがとうございます。

このアンケートは、シアターをより多くの方へ利用していただくため、現在のシアターへの改善点・要望等をお聞きしたものです。

アンケート結果をもとに、今後のシアター運営へ活かしていきたいと思っております。

サポセン 日記

9月19日(土)に仙台国際センターで開催された「せんだい地球フェスタ2009」。国際交流、国際協力や多文化共生の活動をしている80を越える団体が集まりました。サポセンは「出前サポセン」という企画で初参加。

今回は、広瀬通一番町を飛び出して伺った出前サポセンや、せんだい地球フェスタ全体の様子をお届けします。



9:20 会場入り

開催時刻が近づくと、入口はお客さんで溢れています。実行委員が「開館時刻まで少々お待ち下さい!」とアナウンスを行うほど。

10:00 開催セレモニー

テープカットが行なわれると同時に、待っていましたと言わんばかりにお客さんが入場してきました。来場者は想像していたよりも多く、今年で16回目の国際的なフェスタとあってさまざまな国の方々がいらしていました。

11:00 サポセンブースは大賑わい

サポセンブースの出足も好調です。ブースがスタンプラリーの会場の一つになっており、スタッフもスタンプラリー用のスタンプを押したり、パンフレットを渡したりと大忙しでした。



12:00 世界のうまいもん

世界各国のおいしい料理が食べられるとあって、ブースは人で溢れかえり、大盛況でした。スタッフも交代で、グリーンカレー、チャイ、トムヤンクンなどなど…。たいへん美味しく頂きました。

13:00 サポセンをおおいにピーアール

午後になるとサポセンブースに立ち寄る方からサポセンに関する問合せや相談が多くなりました。相談内容は「サポセンって何?」から「ぜひ、利用したい」という方までさまざまです。そんな中「経験を活かしたい」というシニアの方に、近々シニアセンターで開催の「ライフプランセミナー」のチラシを渡すと興味津々のご様子。受講お申し込み頂けるといいなあ。

16:00 フェスタ終了

今日サポセンブースには、140名近くの方が訪れました。また、普段サポセンを利用している団体さんも出展しており、休憩などを利用して各ブースをのぞきに行ったりしました。スタッフも、サポセンにいるだけではわからない情報をたくさん得ることができました。

今日お会いしたみなさま、今度はサポセンでお待ちしています。(担当 菊地 竜生)

サポセン広場

利用者のみなさまから寄せられた声にお答えします。

ケース1

7階の交流サロンを使用している人たちは、事務用ブースにも人がいるので、もう少し声を小さくしてほしい。

Answer

最近、嬉しいことに交流サロンを利用する団体が増えてきています。ただその分、隣の団体との距離も近づき、今回いただいたようなご意見も増えてきています。交流サロンは、みなさんが無料で使える公共スペースです。サポセン開館以来、交流サロンの空間づくりには、スタッフだけではなく、利用される皆様のご協力によって成り立ってきました。基本的な利用ルールは各テーブルに書かれておりますが、お互いが声を掛け合いながら、気持ちよく交流サロンを利用していただきたいと思っております。皆様にもご協力をよろしく願います。

(センター長 小松)

ケース2

交流サロンに、小さな子どもを連れてきているグループがあった。子どもが退屈で、歩き回ったり、ホワイトボード面にマジックで塗りつぶしたり、絵を描いたり、踏み台で遊んだり…。個室ではないので、親御さんがもう少し回りに気を遣って欲しい。

11月の イベント紹介

■ サポートセンターで行われる、参加者募集中のイベントを紹介します。
 ■ 原則として各団体に提出していただいた文章をそのまま掲載しています。
 ■ 毎月5日締め切りで、翌月サポートセンターを会場に開催するイベント情報を募集しています。掲載をご希望の方はお問い合わせください。

●貸室での催し物

開催日時	イベントタイトル	貸室	参加費	主催／問い合わせ先
11月15日(日) 10:00～11:30	「盗聴、盗撮の被害をなくすために」 市民対象セミナー	研修室5	資料代含む 800円 (事前申込必要)	NPO法人日本情報安全管理協会 東北(仙台)校 Tel&Fax:022-343-1245 携帯:090-7934-9132 (星)
11月17日(火) 10:00～10:45	親業セミナー 「切れない子に育てる」 ～親業に学ぶ接し方～	研修室5	500円 (事前申込不要)	PETフォーラム Tel&Fax:022-281-0858 http://www.k3.dion.ne.jp/~smile55/ (石田)
11月18日(水) 11:00～13:00	ベビーケア・アロマケア	研修室3	1,500円 (事前申込必要)	Heartの会 携帯:080-1823-3146 Tel:022-222-8926 (曾根)
11月24日(火) 15:00～16:45	ビオトープからみえるもの ー「身近な緑」から見えてくる自然との かかわりー	セミナー ホール	無料 (事前申込必要)	宮城県技術士会環境委員会 Tel:022-723-3755 Fax:022-723-3812 (吉川)

●市民活動シアターでの催し物

開催日	イベントタイトル	時間	入場料など	主催／問い合わせ先
11月1日(日)	H2A ONE ONE ONE CONCERT 2009 Autumn	開場14:30 開演15:00	大学生以上1,500円 高校生以下1,000円	ワンワンワンコンサート事務局 携帯:090-3983-1980
11月3日(火)	葛西シャンソン教室発表会	開場14:00 開演14:30～	1,000円	カワイ シャンソン教室 電話:080-1851-1926(伊藤)
11月7日(土)	Buzz Style 仙台予選	開場14:00 開演14:30～19:30	前売2,000円 当日2,500円	Buzz Style 携帯:090-3750-6989(福島)
11月14日(土)	ZIOFRONT the WORLD 09・秋冬	第1部15:00～17:00 第2部19:00～21:00	前売800円 (数量限定)	ZIOFRONT 電話:022-265-2150
11月22日(日)	下地勇tour『Vibe of the people』	開場14:30 開演15:00	4,000円 (ドリンク代別)	カフェミルトン 電話:0224-26-1436
11月23日(月)	コリア文庫『金起林』出版記念会	13:30～16:00	1,500円 (飲食費込)	コリア文庫 携帯:090-2840-8501(青柳)
11月28日(土)	Bebops19thコンサート with HI-LIGHT ALLSTARS	開場12:30 開演13:00	4,000円	ビパップス 携帯:090-5180-0988(鈴木)

お知らせ ●○●

市民公益活動促進委員会委員募集のお知らせ

NPOやボランティアなどの市民公益活動の促進のため必要な事項について、市で選任した学識経験者等の委員とともに調査・審議していただく方を募集します。

●応募資格：市内にお住まいの20歳以上70歳以下（任期開始時）の方。任期開始時に本市の他の附属機関等の委員となっている方を除く。

●募集人数：2人

●任期：平成22年2月から平成24年1月までの2年間

●応募方法：市役所本庁舎4階地域活動推進課市民活動支援室で配布する申込書と小論文（800～1,200字程度）を、11月10日～27日までに市民活動支援室に提出してください。

※詳細はお問合せください。

●面接：12月22日（火）予定

問合せ先：地域活動推進課市民活動支援室
TEL022-214-8002

主催イベントのお知らせ



<申込み> TEL 022-212-3010

日時	イベント内容	会場	料金
10月27日(火) 19:00~20:30	ONPOいろは塾 NPOの基礎について、90分で分かりやすく学びます。	研修室5 (4F)	500円 (事前申込必要)
10月31日(土) ~ 11月1日(日) 10:00~15:30	○出前サポセン@太白区中央市民センター サポセンの主なサービスをパッケージにし、サポセンの紹介だけでなく、地域の活動団体の情報の紹介も行います。 今回は、「ながまち交流フェスタ2009」へお邪魔します!	太白区 中央市民 センター	無料 (事前申込不要)
11月17日(火) 14:30~16:00	ONPOいろは塾 NPOの基礎について、90分で分かりやすく学びます。	研修室5 (4F)	500円 (事前申込必要)
11月29日(日) 10:00~18:00	○せんだいCARES 2009 タイアップ企画 サポセン10周年大感謝祭 こんなサポセン見たことない!! 1999年に開館したサポセンも、おかげさまで10周年を迎えました。 これまでの“感謝”とそしてこれからも“よろしく”の気持ちを込めて、サポセン10周年大感謝祭を開催します。 <イベント一例> ・NPOサイコロトーク ・NPO体感マーケット ・サポセン事務用ブスノウハウ交流会 ・CARES Café ・大交流会 イベントの詳細は、サポセンホームページをご覧ください!	サポセン 全館	無料 ※飲食代は別途かかります。 (事前申込不要)

※各イベントによって、開催時間が異なります。

「シニア活動蚤の市」
同時開催!!

仙台市シニア活動支援センターからのお知らせ

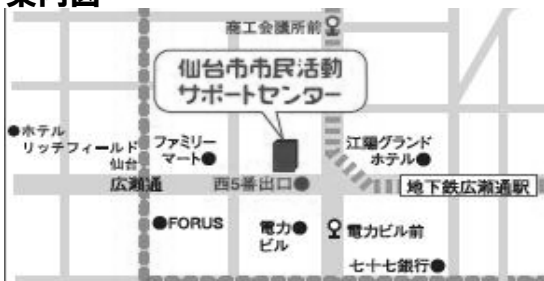
< 申込み・問合せ > TEL 022-217-3983
仙台市シニア活動支援センター (サポセン3階)

日時	イベント内容	会場	料金
11月14日(土) 10:00~18:00	◆専門相談 仙台でさまざまなテーマで活動する市民活動団体の情報を知り、参加してみませんか?	研修室1 (3F)	無料 (事前申込必要)
11月24日(火) 13:00~20:00	◆セカンドライフ相談 テーマを定めず、セカンドライフの相談に、個別/グループで相談員が幅広く応じます。	研修室5 (4F)	資料代500円 (事前申込必要)

■ 仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちのための拠点施設です。

■ 案内図



○当施設に駐車場・駐輪場はございません。お車や自転車で来館される方は、周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。

注) 路上駐車は周辺の迷惑となりますのでおやめください。

○ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。

[最寄のバス停]

電力ビル前、商工会議所前、広瀬通一番町前、地下鉄広瀬通駅前

■ 開館時間

- 平日 午前9時~午後10時
- 日曜・祝日 午前9時~午後6時

■ 休館日のお知らせ(施設点検等のため)

10/28 11/25

■ 編集後記 ◆涼くなってからというもの、私はカフェオレを飲んで体を温めています。コーヒーは、あーすらいふ仙台さんのフェアトレードコーヒー。これも手軽な国際協力ですね。(内川)
◆秋は芸術系のイベントが多く、できるなら全部行きたいものです。今号からイベント紹介に「シアターでの催し物」を追加しました。おでかけ計画のご参考にどうぞ。(菅野)

発行: 仙台市市民活動サポートセンター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042

ホームページ <http://www.sapo-sen.jp>

発行日: 2009年10月26日

編集: 特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

編集人: 内川奈津子 菅野祥子

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行なっています。[指定管理期間: 2007年4月1日~2010年3月31日]